

企業名： PALTAC

レポート名： WHAT'S PALTAC 統合報告書 2025

1. この会社が目指す姿が理解できるか（将来）

この統合報告書を読んで、PALTAC が目指す姿がよく理解することができた。

PALTAC は「人と社会の未来をつなぐ」を長期ビジョンに掲げ、単なる卸売業者ではなく、サプライチェーン全体を支えるインフラ企業を目指すとして、「メーカー様」、「小売業様」、「生活者様」など、個々に提供できる価値を具体的に3つ挙げており、経営方針が率直にわかりやすく伝わってきた。2030 年前後には売上高 2 兆円規模の達成を目標とし、物流機能の高度化や DX 推進、サステナビリティ経営を通じて社会課題の解決と企業価値向上の両立を図ろうとしていて、特に、人口減少や物流人材不足といった社会変化を見据えながら、効率的な流通システムの構築を目指している。

以上の点から、将来像は比較的明確に示されていると感じた。

2. この会社の競争優位性が理解できるか（現在）

PALTAC の競争優位性は、全国規模で構築された物流ネットワークと、それを支える高度な情報システムにあると理解した。同社は日用品、化粧品、一般用医薬品など生活に密着した商品を幅広く取り扱っており、全国のメーカーと小売業者を結ぶ流通インフラとしての役割を担っている。特に、全国各地に配置された物流センターを通じて、多種多様な商品を迅速かつ効率的に配送できる体制を整えている点は大きな強みである。

また、同社は単なる卸売業者ではなく、膨大な販売データや物流データを活用し、需要予測や在庫管理の最適化を実現している。これにより、小売業者は欠品リスクを抑えながら在庫を効率的に管理でき、メーカー側も安定した販売機会を確保できる。このように、メーカーと小売業者の双方に価値を提供していることが、強固な取引関係の構築につながっている。さらに、物流センターや情報システムへの投資には多額の資金と長年のノウハウが必要であり、競合他社が短期間で同水準の体制を構築することは容易ではない。そのため、同社は規模の経済を活かしながら高い物流効率を実現し、競争優位性を確立していると考えられる。報告書を通じて、PALTAC は単に商品を運ぶ企業ではなく、流通全体の最適化を支える社会インフラ企業として独自の強みを持っていることが理解できた。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか（変化）

物流センターや情報システムへの巨額投資は参入障壁となるため、短期間で競合他社が同等の体制を構築することは難しい。また、メーカー・小売業との長期的な取引関係も強みである。一方で、EC 市場の拡大や物流業界の人手不足、AI や自動化技術の発展によって競争

環境は変化している。そこで同社は、「サプライチェーンをデータでつなぐこと」に挑戦をしており、物理的には結ばれていても、現場で何が起きているのかわからない、“見えな
い断絶”をデジタル・AI の力で乗り越えようとしている。近年の AI 技術の進歩を鑑み、自
社に活かすにはどうしたよいかを考えており、自社の強みである「全国物流網」と「メー
カー・小売とのネットワーク効果」を DX によって強化しより効率的で競合と差別化された流
通の実現を目指していることがわかった。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

PALTAC は人的資本を重要な経営資源として位置付けており、人材育成やキャリア形成支
援に力を入れている。また、物流、営業、データ分析、DX 推進など幅広い業務に携わる機
会があり、流通業界全体を俯瞰する視点を身に付けられると考える。特に、変革期にある物
流・流通業界で DX やサプライチェーン改革に関わる経験は、市場価値の高いスキル習得に
つながると感じた。

継続的な人材育成にも力を入れている。研修費が 2023 年から 2025 にかけて約 3 倍にまで
上昇している。具体的には、個々人の成長に合わせた階層別研修や様々な通信教育などはも
ちろん、従業員一人ひとりの主体的な成長を支えるため、「学び」「対話」「キャリア支援」
の 3 つの観点から人材育成の取り組みを強化している。上司と部下の定期的な対話を支援
することで、キャリア形成や業務上の課題の共有、従業員の意欲や成長ニーズの把握を促し、
育成方針の精度向上や適切な人材配置につなげている。また、従業員同士が価値観や課題を
率直に語り合う「エンゲージメントワークショップ」も開催し、組織全体の一体感とエンゲ
ージメントの向上を同時に図っており、社員に自律的な成長を後押ししているとわかる。
以上の点から、PALTAC は社員一人一人のキャリアに真摯に向き合っていることが伺える
だろう。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

本報告書のよかった点は、企業理念から長期ビジョン、経営戦略までのつながりが分かりや
すく整理されていたことである。また、財務情報だけでなく、人的資本やサステナビリティ
への取り組みについても詳しく図や数値で説明されており、企業価値創造の全体像を理解
しやすかった。さらに、物流ネットワークや事業モデルについて図表を用いて説明している
ため、事業内容を直感的に把握することができた。一方で改善余地としては、競合他社と比
較した際の優位性が定量的に示されていない点が挙げられる。DX 投資や人的資本投資が今
後どのような成果につながるのかについて、より具体的な数値や事例が示されると、企業の
成長可能性をさらに評価しやすくなると感じた。また、多様な人材が活躍するプロジェクト
(女性視点の改善プロジェクト ～新しい当たり前を創る～等)に関して、近年女性や外国人
労働者、障害を持つ方々